

## 趣 旨

### キーワード記入

#### もったいない環境学習をすっきり

##### ■ 問題意識・目指すことなど

###### 【現状】

現在、県庁内では様々な所属で環境学習に関連する事業が進められています。

\*H18年度:105事業、環境学習セカ-調べによる内容や経費の面でもったいないところはないのでしょうか?

###### 【問題点】

- ・ 環境学習が飽和状態にある。
- ・ 一過性の事業が多く学習のつながりや広がりがなく、非効率である。
- ・ 複数の行政担当課から NPO 等への依頼が集中する。
- ・ 内容が縦割りのため、生活の場の課題解決を目指す NPO のコンセプトとずれが生じていたり現場のニーズの把握が把握されていないため協働しにくい。

これらの問題点を解決するために、庁内における環境学習の連携について、その可能性を検討します。

###### 【目的】

- ・ 生活者の視点に立った総合的(横断的)、効果的な環境学習を県民に提供する。
- ・ 行政職員の「気づき」をはじめとする意識改革を行い、横軸での事業見直しとその実践を目指す。

## 経 過

### キーワード記入

#### もったいないへの気づき

##### ■ 取り組み経過

H17年10月 班分け、立ち上げ

H18年3月 エコライフ推進課と調整

H18年5月 環境学習推進会議連絡員会議において「つながりに気づく、つながりを築くワークショップ」を開催

各事業毎にアピールポスターを作成し情報を共有したあと、連携可能な事業の発掘にむけて意見を出し合う。

→情報提供事業において共有の効果があつたが、具体的な連携事業は生まれず。

H18年10月 仕分け作業

105の事業をフィールド、対象者別に仕分けする。本来の環境学種とはいえない事業は外す。→57事業を選定

###### 【フィールド別】

- ・ やまの子(山間部、里山、森林)10事業
- ・ かわの子(河川)9事業
- ・ つちの子(田園、畑地)7事業
- ・ うみの子(琵琶湖、内湖)8事業
- ・ エコの子(地域、家庭、学校)8事業
- ・ その他(全てのフィールド関連)15事業

###### 【対象者別】

- ・ 幼児向け 2事業
- ・ 小中学生向け 17事業
- ・ 一般向け 30事業
- ・ 指導者向け 8事業

H18.12月 指導者向け事業の個別ヒアリング調査を行い、各事業毎に目的や内容等について分析を行う。

→個々の事業における見直しの必要性は感じられたが、単純な連携は困難である。内容の体系化、合理化についてNPOとの協働で検討の必要有り。